羽生市議会議員 ～羽生を**変える力**になる！～

中島なおき

過去の清算は**未来**への責任

子供にツケをまわさない!

平成28年 冬 NO.54

元埼玉県知事特別秘書、現在上田清司事務所所長の野本能伸氏と。お誘いいただき、埼玉県庁近くの隠れ処にて一献。政治哲学、選挙哲学などご教示賜りました。

茨城県小美玉市議会議員一般選挙
若手政治家養成塾の同期生を本気で応援！

市議会有志で**大正製薬(株)羽生工場**を視察。**東日本(静岡県以北)のリポビタンDは全て羽生工場で製造されています。**東日本のリポビタンDの元は羽生の水なのです。ご存じでした？

小学校の運動会。身長180cm以上の人！の指名に三脚を持ったまま子供たちと全力疾走。(汗)

秋は行事シーズン。多くの行事にお招きをいただき、お祝いと激励の言葉を送らせていただきました。

何年経っても体は忘れないものです。

市議会都市民生委員会にて富山県射水市の保育所事業を視察。元気な子供達に手荒い歓迎を受けました。(笑)

Please be careful about traffic.

お知らせ「ゾーン30」始まる！

12月10日から埼玉県公安委員会によって南羽生地内の一部で「ゾーン30」の規制が始まりました。生活道路など一定の範囲を指定し、歩行者や自転車などの安全を確保するための区域です。最高速度を30km以下に規制することから「ゾーン 30」と名付けられています。制限速度を守り、一層安全運転を心がけましょう。

「ゼロからの挑戦日記。」 ほとんど毎日更新中！ 中島なおき 検索

11月26日から12月14日まで19日間の日程で平成27年12月定例羽生市議会が開かれました。平成27年度一般会計補正予算歳入、歳出それぞれ1億2，548万円をはじめとし、国保特別会計補正予算、住宅資金貸付特別会計補正予算、マイナンバー法施行による条例改正、羽生総合病院の新病院建設に伴い、建設地予定地（下岩瀬地内）の市道の認定、廃止などの14議案と小松砂山地区企業誘致地権者推進協議会から届いた「企業誘致の実現に関する請願」が上程されました。

結果、上程議案すべてが賛成多数、および賛成全員で可決、承認、認定されました。請願は審査過程で「採択」と「趣旨採択」に意見が分かれましたが、「採択」で可決されました。

私、中島は上程された全て議案、請願とも賛成の意思表示をしました。

中島直樹29回目の一般質問・市政を問う！

政策提言 重視宣言

Q. 市民を犯罪から守るために羽生市がすべきこと（熊谷市の事件を受けて）

9月、熊谷市において、警察署から逃走した男が児童2人を含む6名を殺害したとする大変に痛ましい事件が起きた。容疑者の男は身柄が確保されるまでの4日間、市内で恐喝や住居への不法侵入を繰り返していたが、その状況が警察から市民、市役所に知らされることはなかった。羽生市で同様の事件が起こらないよう、新たな防犯体制を構築すべきと考えるが見解を伺う。

合わせて、登下校する子供たちを犯罪から守るために、ボランディア団体、自治会、地域住民と防犯情報を共有できる仕組みを早急に構築すべきと考えるが見解を伺う。

A.（総務部長・学校教育部長）熊谷市は、12月中に新たな防犯体制「熊谷モデル」を確立することで県警と合意している。羽生市においても羽生警察署と協議を行っており、「熊谷モデル」が確立したのち、羽生版の情報提供体制を確立していきたいと考える。子供たちを犯罪から守るための防犯情報の共有体制は学校ごとに整っている。

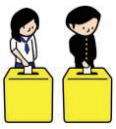
Q. 選挙公報の見直しについて

選挙の際、羽生市選挙管理委員会が発行する「選挙公報」は平成7年から見直されていない。候補者一人当たりの紙面枠が小さく、有権者にとって大変に見づらい。しかし、余白や空欄が多くあり、重複する情報も多い。市民に見やすくするため、また候補者の政見に対する表現の幅を広げるため、書式や紙面枠を大きく見直すべきと考える。

また、選挙が終わると、HPにあった選挙公報が削除されてしまう。市民に市政をより身近に感じてもらうため、4年間掲載したままにすべきと考えるが合わせて見解を伺う。

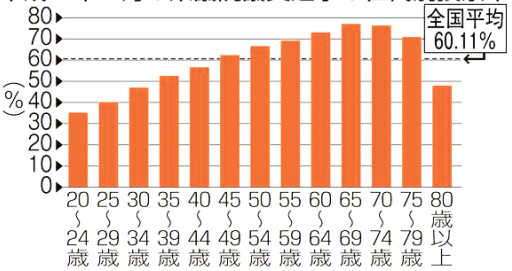
A.（選挙管理委員会委員長）紙面枠を拡大し、各候補者の政見等の情報が多く掲載され、周知されることは有意義であると考える。区画数を含め、見直しを積極的に検討していきたい。選挙公報をHPに掲載したままにしておくことは選挙管理委員会所管の事項から逸脱すると考える。そのほか2つ課題が残されているため、従来通り対応したい。

Are you ready?
18歳になったら選挙にGO！



H27年6月の公職選挙法改正により、H28年夏の参議院議員選挙から選挙権の年齢が20歳から18歳に引き下げられます。選挙年齢の改正はなんと70年ぶり。羽生市では約700人が新たに有権者に加わります。（全有権者の1．5%）将来に不安が、世の中に不満があるならまず選挙に行きましょう！あなたの1票では変わらないかもしれません。しかし、あなたの１票でしか変えられないことがあります！

平成24年12月の衆議院議員選挙の世代別投票率



これでは若年者の声は政治に届きませんよ！

市議会の現況と市政の課題についてお話しました！

NO,53レポートでお知らせのとおり、11/8(日)、14(土)に須影公民館とパープル羽生において、議会報告会を行いました。これまでと同様に参加動員は一切行っておりませんが、両日とも多くの方にお集まりいただきました。私主催の報告会は終了しましたが、お声掛けいただければどこでも**出張にて議会報告を行います。**下記までご連絡ください。メールでご連絡の際は、送受信トラブルを防ぐため、**必ず開封確認付きでの送信**をお願いいたします。

中島なおき　略歴　S47年11月生まれ（43歳）埼玉栄高校　日本福祉教育専門学校　日本大学法学部卒　児童福祉施設鴻巣市社会福祉協議会勤務を経て、H19年羽生市議会議員一般選挙に単身立候補し初当選　H26年話題づくりを最優先とした市政運営に異を唱え羽生市長選挙に立候補するも次点落選　その後家族の生活を守るため民間企業に就職　H27年再び羽生市議会議員一般選挙に立候補　NPO法人地方議会制度研究センター副代表理事　第2期若手政治家養成塾副代表　青年地方議員の会会員

事務所　羽生市南羽生4-17-2　TEL 070-6488-4588　Mail japanist0422@live.jp